

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

## 事業名 新型コロナウイルス感染症非常時入院調整システム事業費（県単）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内2588)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 264 千円（現計予算額： 0 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0		0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	264	0	0	0	0	0	0	0	264
決定額	264	0	0	0	0	0	0	0	264

## 2 要 求 内 容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症において病床が切迫し、本来入院すべき患者が入院できない状況となった場合に、救急医療を専門とする医師（「メディカルコントロール医師」を指名）が患者の入院調整を行う「非常時入院調整システム」を構築している。

委託先の医師が入院調整を行う際に必要とする病床の空き情報等の基本情報は県職員リエゾンが収集等を行い、県庁担当課や保健所等と連絡調整を実施する。

令和3年11月に委託契約した病院構内において、業務を実施する「トリアージ棟」には固定電話がないことから、県職員リエゾンが使用する携帯電話を調達し通話料金等を確保する必要がある。

なお、この事業は国補対象外経費のため、事業名に「県単」と明記し、既存事業は全額国庫補助対象経費のため「国補」を追記することによって区分を明確にする。

### （2）事業内容

県職員リエゾンが使用する携帯電話のレンタルによる調達料金

※通話・通信料金等を含む。

**(3) 県負担・補助率の考え方**

県職員リエゾンが業務として使用することから県負担とするもの。

**(4) 類似事業の有無**

無

**3 事業費の積算 内訳**

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	264	県職員リエゾンが使用する携帯電話料金
合計	264	

**決定額の考え方**

--

**4 参考事項**

**(1) 各種計画での位置づけ**

- ・新型コロナウイルス感染症対策 新たな波に備えて  
医療提供体制の強化 「非常時入院調整システム」の構築

**(2) 国・他県の状況**

- ・新型コロナウイルスに係る入院調整をMC医師が行っている事例は、他県にはないが、DMA T医師を専任している県がある。

**(3) 後年度の財政負担**

- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて今後も財政負担が必要。

**(4) 事業主体及びその妥当性**

- ・病床ひっ迫時の入院調整は、県が行うことが必要。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的)
	(内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額)
	(理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか  
 病床がひっ迫し、本来入院すべき患者が入院できない状況となった場合にMC医師が入院調整を行うシステムをあらかじめ構築することで、感染拡大に備える。また、非常時に本システムを運用することで、患者の適切な振り分けを行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルスの感染状況によって行われる事業であるため、指標を設定することは適さないため。

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>
(評価) 3	<p>新型コロナウイルス感染症第5波では、感染者の急増で宿泊療養施設がひっ迫し、自宅療養者の発生を余儀なくされた。今後再度感染拡大が想定され、本事業により医療提供体制強化を図る必要がある。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li> </ul>
(評価)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の感染が収束するまでは、事業を継続する必要がある。</li> </ul>
---